

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第3章 医療従事者の確保対策の推進

第3節 薬剤師、その他の医療・介護従事者

とりまとめ担当課：保健福祉局生活衛生部薬務課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 薬剤師	
ア 専門性の向上	→ 「がん薬物治療認定薬剤師・がん専門薬剤師ワークショップ」「精神科専門認定薬剤師講習会」等により、専門性の向上を図った。
イ 在宅医療への対応	→ 麻薬を含めた医薬品の適正な取扱い等に関する薬剤師向けの講習会を開催した。 (H28:5回、H25からの累計20回) → 訪問薬剤師を育成するための研修を開催している団体に対し、助成を行った。(研修会回数 H28:6回、H26からの累計18回)
(2) その他の医療・介護従事者	
ア 人材の養成・確保・定着の推進	→ 保健・医療・福祉サービスの各専門職の連携と協働が求められており、幅広い知識、多職種理解、柔軟な思考力を持って連携と共同を推進できる人材を育成した。 → 理学療法士、作業療法士、介護福祉士、社会福祉士の確保・推進するため、修学資金の貸付等を行った。 → 「介護賞」や「かながわ福祉みらい賞」等の表彰により、直接介護に携わる方々のモチベーションアップを図った。
イ 人材の現任者教育の充実と専門性の向上	→ 現任者教育・研修を通じて、保健・医療・福祉人材の資質向上を図った。 → 県立保健福祉大学の施設や機能の活用により、地域社会への貢献の充実を図った。 → 介護支援専門員をはじめ介護従事者等の資質と専門性を高めるため、研修実施団体等を支援した。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 薬剤師

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	ア 専門性の向上 ・専門性を高めるための各種講習会等により、薬剤師の専門性に関する認定資格取得の推進を図ることができた。
	イ 在宅医療への対応 ・薬剤師向けの在宅訪問薬剤管理等の講習会により、在宅医療に携わるための薬剤師の知識向上の成果を得た。
評価理由	各種研修会、講習会等を通じて、薬剤師の専門性向上や、在宅医療への対応は順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)	過去4年間と同様、各種研修会・講習会等による薬剤師の専門性の向上や在宅医療への対応の推進を図る。
次期計画に向けた取組の方向性	・在宅訪問薬剤管理への対応ができる専門性の高い薬剤師の育成と地域における薬剤師の役割強化について推進を図る。 ・かかりつけ薬剤師・薬局の機能強化について、患者のための薬局ビジョンに則した取組を行う。

(2) その他の医療・介護従事者

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	ア 人材の養成・確保・定着の推進 ・県立保健福祉大学・大学院や実践教育センターなどにおける教育や研修等を通じて人材の養成を図ることができた。 ・「介護賞」や「かながわ福祉みらい賞」等の表彰により、直接介護に携わる方々のモチベーションアップを図ることができた。
	イ 人材の現任者教育の充実と専門性の向上 ・実践教育センターなどにおける教育や研修等を通じて人材の資質向上を図ることができた。 ・県立保健福祉大学において、施設や機能の活用により、地域社会への貢献の充実を図ることができた。
評価理由	人材の養成確保や人材の現任者教育を充実させるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29年度に向けた)	平成28年度に引き続き、人材の養成・確保・定着の促進を図るとともに、人材の現任者教育の充実と専門性の向上を図る。

取組の方向性)	
次期計画に向けた取組の方向性	引き続き、人材の養成・確保・定着の促進を図るとともに、人材の現任者教育の充実と専門性の向上を図る。

4 総合評価

評価	評価理由
B	薬剤師、その他の医療・介護従事者については、専門性の高い医療人材の養成・育成を行うため、各種教育・研修・講習等を行い、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--